

2017年9月29日
東急不動産株式会社

インドネシアのマンション開発、事業内容などを評価

「ゴールドプロパティアワード」を受賞

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大隈郁仁)の現地子会社である東急不動産インドネシア社(本社:ジャカルタ首都特別州、社長:斎藤圭司、以下「TLID」)はこのほど、インドネシアの不動産会社であるインドネシアプロパティウォッチ社が選定する「ゴールドプロパティアワード」にて今年新設された外資系不動産デベロッパー部門で表彰されましたのでお知らせいたします。外資系の不動産会社でこのアワードを受賞するのは初めてです。



楯を手にする社長の斎藤



表彰式の様子

この賞はインドネシアプロパティウォッチ社の調査部門が2年ごとに選ぶもので、インドネシア国内のマンション開発プロジェクトの事業性や将来性、事業規模、採算性などを評価し表彰しています。

TLIDはインドネシア現地で開発・工事・販売活動を進める「BRANZ SIMATUPANG」と「BRANZ BSD」の2プロジェクトが評価されました。この2つのプロジェクトは長年にわたって当社グループで蓄積した日本品質のマンション開発の経験を生かし、日本の技術を結集し開発を進めています。

当社グループは1975年からインドネシア国内で不動産事業を展開しております。近年、インドネシアの経済発展に伴い富裕層が増えており、今回の2つのプロジェクトのような高層分譲マンションの需要は急激に拡大しております。当社グループは今後も富裕層を中心に良質な物件を供給すべくインドネシアでのマンションや戸建などの開発を積極的に進め同国の発展に寄与していく方針です。

BRANZ SIMATUPANG

南ジャカルタ・Simatupang地区に位置する「BRANZ SIMATUPANG」は企画から設計、開発、施工、販売、広告のすべてを日本企業が行い、オールジャパンの技術を結集したプロジェクトです。

【物件概要】

| | |
|--------|----------|
| 敷地面積 | 約15,000㎡ |
| 総戸数 | 381戸(予定) |
| 着工 | 2016年3月 |
| 引渡(予定) | 2018年12月 |



BRANZ SIMATUPANG 完成予想図

BRANZ BSD

イオンモールの第一号店をはじめ都市機能の整備が進むジャカルタ近郊のプミ・スルポン・ダマイ(BSD)地区中心エリアでの大型開発プロジェクトで、歩車分離などをはじめ環境や安全・安心を提案するインドネシア版スマートレジデンスです。

【物件概要】

| | 第1期 (BRANZ BSD藍) | 全体プロジェクト概要 |
|--------|---------------------|-------------|
| 敷地面積 | 約16,000㎡ | 約53,000㎡ |
| 総戸数 | 1,256戸 | 約3,000戸(予定) |
| 着工 | 2015年9月 | - |
| 引渡(予定) | 2018年12月 | - |



BRANZ BSD 完成予想図

●プロジェクト位置図(広域)

